

公表日 令和8年 1月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 松戸六高台教室

保護者等数(児童数) 32名 回収数 22件(割合 68%)

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	2	0	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	1	0	2	お子さんの特性に応じて職員数を調整させていただいております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	0	0	1	普段の活動を見させていただいているわけではないのでわかりませんが、面談などで行った際にはわかりやすいと感じました。	教室のキャパシティに限りがある為、その中で安全に机上活動と集団活動を行うための工夫を心掛けています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	0	0	0		できるだけ清潔で明るい空間の中で、児童が安心して過ごせるように努めています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	2	0	3		専門性を高められるように、研修等でスキルアップに努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1	0	2	いつも楽しそうなプログラムを考えていただいております。	屋内活動に限らず、課外活動も取り入れながら、児童の経験値を高めていきたいと考えております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1	0	0		職員間で話し合いを重ね、児童の特性を共有できるようにしております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	0	0	1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	2	0	2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	1	10	特に必要性は感じませんが、あっても良いのかなとは思っています。	千葉スカイセイラズと取り組んでいる「子ども食堂」で選手や地域の子どもおよびお年寄りとの交流の場を設けています。是非ご参加ください。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	2	2	3		定期的に「With Parents」の発行をさせて頂いていますが、今後は懇親会等も行っていきたいと思っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	21	1	0	0	お忙しい中、いつも話を聞いていただいている、本当に感謝しております。毎回送迎の際にその日の我が子の様子を教えていただいております。	その日の様子は送迎時にお伝えし、その他のことに関しては、お電話等でお話させていただいております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1	0	1	相談出来る先が他にないため、とても難しいです。	定期面談に限らず、ご心配事やご相談事がありましたら、その都度お知らせください。いつでも面談の機会を設けてさせていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	0	6	9	参加できるかどうかは分かりませんが、普段仲良くしているお友達がどんな子なのか知りたいと思っています。	懇親会等のご希望も、保護者の方から伺っております。今後はそのようなことも企画していきたいと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1	0	2		定期面談の他にも、随時ご相談事があればお気軽にご相談いただきたいと思います。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	3	0	0		その日の様子は送迎時にお伝えし、その場でお答えできないことやごちらからお伝えしたいことにおいては、お電話等でお伝えさせていただいております。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	0	0	1	SNSやお便りをいつも楽しみにしています。ありがとうございます。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1	0	2		お子さんのご利用日に訓練が行われる日とそうでない日がありますが、今年度も規定回数訓練を行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	1	0	4		こぼん通信でもお知らせしておりますが、災害訓練も行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1	0	2		日々の経験を活かしながら、安全確保を心掛けています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	0	0	3		怪我等に関しては、事業所対応できるものは送迎時やHUGの連絡欄でお知らせさせて頂いております。発熱や大きなけがに関しては、発生時にお知らせしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	2	0	0	親の思いと、子どもの思いが、必ずしも一致しておらず、その結果子どもが態度に出して、施設にもご迷惑をおかけしてしまうことがあります。	様々なお子さんがいらつしゃることは、教育上当然のことと考えております。その上での療育であるので、迷惑などと思っておりますので、ご安心ください。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	3	0	0	以前は本当に楽しく通っていましたが、今は色々な因子がありそうとも限らないようです。	お子さんの成長と共に、児童間の問題やプログラム参加の意欲など様々な感情が出てくると思います。可能な限り対応していきたいと思っておりますので、お気付きのことがございましたら、お知らせ頂きたいと存じます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1	0	0		保護者の皆様のご協力の下今後も研鑽に

公表日

令和8年 1月 20日

事業所名

こぼんはうすくら 松戸六高台教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	1	学習や机上活動をした場合には、そのスペースを確保している。職員によってバラつきが出ないよう、児童が集まる場所がある程度固定している。集中を妨げるものを置かずシンプルな空間	スペースが机しかないので、自閉症などがクールダウンしにくい(音など)など
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	0	必要性がある児童にはマンツーマンで付くようにしている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	0	可視化を試みている。自由時間に使うおもちゃ等は、児童が出しやすいようにしているが、活動中は気にならないような柵やボックスを使用している。	何度も出し入れする箱がすぐにヘタってしまう、何度も買い替えが必要になってくる。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	身体を動かせるスペースを作っている。毎日の掃除消毒	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	2	個別教室はあえて用意していないが、会議室等を代替として使っている。廊下や会議室や事務室で工夫している	部屋数は少ない
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	0	会議を開き周知している。職員で情報の共有をしている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	アンケートの結果をいかしている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	管理者と職員面談を行い、現場の声を拾っている。アンケートをしてくださります	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	1	個別で受講できる研修の提供や、事業所内での研修への参加を促している。オンラインなど、参加しやすいもの	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	プログラム名は同じでも、できるだけ沢山のパターンで活動できるようにしている。全員で確認しながら決定している。複数の視点で、目標にそって支援を考察	プログラムによっては、年齢や力差がついてしまうものもあるので、更なる工夫が必要。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	会議で出た意見をいかしている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	その都度会議を開いている。会社アプリにて情報共有	共通支援をしている職員はなかなか会議に参加できない
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	1	記録しています	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	毎月ミーティングを行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	様々なイベントを取り入れて、課外活動も積極的にこなしている。内容確認 話し合いにて思案検討	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	児童に役割をもたし、集団の一員としての感覚をもたせる	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0	朝礼で申し送りや確認をしている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	2	申し送りは徹底し、全職員が周知できるように、LINEの活用をしている。定期的な会議、出来るだけ、気になる事は共有している	必ずしも勤務時間上難しい

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	観察し記録をとる	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	書類作成、保護者確認	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	12	0		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	1	本人に納得してもらいながら、参加を促している。意思を聞き見直しをもてるように助言する	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0	保護者からの必要な情報を管理、共有、訓練	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	0	学校や保護者から、積極的に年間や月間予定を受け取るようにしている。学校通信など細かく把握する	下校時刻の急な変更に関してすぐに連絡がもらえるよう、もう少し学校や保護者に声掛けをしていく必要がある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	4	子ども食堂への参加を定期的に行なっている。図書館や公園など、役割をもたせ参加	機会があればやりたい、機会があれば是非一緒に活動したいと思います
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	丁寧に、教室での様子を伝える	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	2	定期的にペアレントトレーニング誌を配布している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか。	12	0	入所時に説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	6		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	必要なことは、対面時に丁寧に説明をする	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	6		機会があればやりたい、機会があれば是非招待したいと思います

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	訓練を実施したことは、こぼん通信で広くお伝えしている。緊急、防災など、想定し訓練	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0	警察の方、消防の方をご招待して一緒に確認	スムーズな訓練を行っているが、上階に住居があるという特性も踏まえ、もう少し困難な状況を想定した訓練も行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0	書類の提出を依頼している。情報共有	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0	おやつを選択 確認	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	記録ファイルやアプリにて共有	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	複数で連携をはかり対応	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	0	危険性のある児童の保護者には、個別に書類提出を求めている。保護者に確認をとる	